

雅子さま、愛子さま退院

白いおくるみに包まれ 沿道で大勢の市民出迎え

皇居内の宮内庁病院に入院されていた皇太子妃雅子さまが八日、娘の愛子さまとともに退院された。雅子さまは九日に三十八歳の誕生日を東京・元赤坂の東宮御所で迎え、皇太子さまとご家族三人の新しい生活が始まる。



愛子さまを抱かれ、退院される雅子さまと皇太子さま。八日午前十一時五十五分、宮内庁病院

白いスーツ姿の雅子さまは、愛子さまを大事そうに抱きかかえ、宮内庁病院の皇室専用玄関へ。愛子さまは襟元にフリルが付いた白いおくるみに包まれ、すやすやと眠っていた。体重は三・三六グラムで誕生時より三四グラム増えた。身長は四九・六センチと変

わらない。

雅子さまは迎えに来られた皇太子さまとともに、玄関内に並んだ医師、看護婦らに小さな声で「ありがとうございます」と何度もお辞儀を繰り返した。ご夫妻は愛子さまを見ながら少し言葉を交わし、主治医の堤治東大教授の前で、立ち止まりうれしそうに話しかけた。

ご夫妻と愛子さまは車で、約二・五キロ離れた東宮御所へ。沿道では約三千五百人の市民が歓声を上げたり日の丸を振ったりして出迎えた。雅子さまは窓を開け、笑顔で手を振ってこたえた。